

「京式登り窯」共同利用プロジェクトを実施します！

～産学公連携事業～

平成29年11月10日
京都府立陶工高等技術専門校
075-561-2943

京都府立陶工高等技術専門校では、京焼炭山協同組合、京都陶磁器青年会、京都市立芸術大学及び京都市産業技術研究所と共同で、府内で唯一稼働し「京焼・清水焼」を伝統的な手法で焼成できる「京式登り窯」を活用し、体験実習を実施しますので、当日（焼成）の取材についてよろしくお願ひします。

- 日時 平成29年11月25日（土）15:00～16:00（取材時間）
- 場所 京焼炭山登り窯（宇治市炭山西ノ谷17番地）
- 講師 京焼炭山協同組合 みやがわこうろん 宮川香雲氏、はやし じゅんじ 林 淳司氏、にしむらとくや 西村徳哉氏、ことうげけんたろう 小峠賢太郎氏
- 対象
 - 京都陶磁器青年会（谷口会長、河井副会長等） 10名
 - 京都市立芸術大学（美術学部森野准教授、学生等） 30名
 - 京都市産業技術研究所（職員、研修生等） 15名
 - 京都府立陶工高等技術専門校（指導員、訓練生等） 15名
- 当日スケジュール

時間	研修内容	担当
4:00～	あぶり（胴木間）	京焼炭山協同組合
9:00～	焼成（胴木間）	5団体全員
15:00～16:00	<取材> 焼成（胴木間）風景※裏面写真イメージ	
18:00～	焼成（一の間）	京都市立芸術大学
20:00～	焼成（二の間）	京都市産業技術研究所
22:00～	焼成（三の間）	京都府立陶工高等技術専門校
0:00～	焼成（四の間）	京都陶磁器青年会

※7/4;合同講義、7/11;合同実習、10/14;薪割り、11/6～19;窯詰め、12/8～9;窯出し

【参考1】 京焼炭山協同組合及び「京式登り窯」について

昭和42年に京焼炭山協同組合が設立、昭和46年に五条坂・泉涌寺地区から宇治炭山地区に十数軒が移転し「京焼村」を設立。昭和51年に排煙処理装置を備えた登り窯完成。

【参考2】 これまでの経過及び「産学公連携」について

- 京都陶磁器業界人材育成合同研究会（産学公が連携し、業界活性化・人材育成に取り組んでいくため、業界団体（陶連等）、教育機関（芸大・美大等）、研究機関（市産技研）、訓練機関（当校）、行政（府・市）で構成）を設置（H28.8）
- 京焼炭山協同組合、京都陶磁器青年会、京都市立芸術大学及び当校で「人材育成に係る産学公連携等に関する覚書」を締結（H29.7）し、組合員・教員・指導員の相互派遣、学生・訓練生の相互実習を実施（H29.7）
- 産学公連携による新製品開発、成形技術の迅速化等のため3Dプリンタ設置（H29.8）
- 産学公連携具体化（若手料理人と若手陶工とのコラボ）のための講演会を開催（H29.11）

（裏面あり）



【参考3】 「登り窯」焼成風景（イメージ）



京式登り窯全景（胴木間焼成）



各間への薪の横ざし

